



平成31年3月29日
道路局 高速道路課

高速道路会社への事業許可について

本日、別紙の事業について、道路整備特別措置法第3条に基づき、国土交通大臣より高速道路会社へ事業許可を行いましたのでお知らせします。

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 河村（内線：38314）

課長補佐 久保（内線：38315）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

① 財政投融资関係
(6車線化)

事業名	都道府県等	延長	事業主体
新名神高速道路	三重県・ 滋賀県	約 41km	NEXCO 中・西日本

(4車線化等)

事業区間名	都道府県等	延長	事業主体
道東自動車道	北海道	約 9.5km	NEXCO 東日本
秋田自動車道	秋田県・ 岩手県	約 7.7km	NEXCO 東日本
磐越自動車道	新潟県	約 5.1km	NEXCO 東日本
富津館山道路	千葉県	約 3.4km	NEXCO 東日本
東海北陸自動車道	富山県	約 2.8km	NEXCO 中日本
舞鶴若狭自動車道	京都府・ 福井県	約 4.1km	NEXCO 西日本
舞鶴若狭自動車道	福井県	約 7.8km	NEXCO 西日本
広島呉道路	広島県	約 12.2km	NEXCO 西日本
岡山自動車道	岡山県	約 3.3km	NEXCO 西日本
米子自動車道	鳥取県	約 4.2km	NEXCO 西日本
徳島自動車道	徳島県	約 4.8km	NEXCO 西日本
松山自動車道	愛媛県	約 4.4km	NEXCO 西日本
東九州自動車道	福岡県	約 1.1km	NEXCO 西日本
東九州自動車道 (宇佐別府道路)	大分県	約 4.6km	NEXCO 西日本
東九州自動車道	大分県	約 6.0km	NEXCO 西日本
東九州自動車道	宮崎県	約 3.7km	NEXCO 西日本

② 有料道路事業の導入

事業名		都道府県等	延長	事業主体
一般国道201号 やきやま 八木山バイパス	<small>ささぐり</small> 篠栗IC～ <small>ほなみひがし</small> 穂波東IC	福岡県	約 13.3km	NEXCO 西日本

③ 民間施設直結スマートICの新規事業化

事業名		都道府県等	延長	事業主体
神戸淡路鳴門 自動車道	<small>たるみ</small> 垂水IC～ <small>ひがしうら</small> 東浦IC	兵庫県	—	本四 高速 (淡路市)

高速道路の機能強化の加速

※平成31年度道路局関係予算決定概要
平成31年12月21日

昨年度に引き続き、財政投融資を活用して、①**暫定2車線区間の機能強化による防災・減災対策**、②**生産性向上のための新名神高速道路の6車線化**を行う。

<金利負担軽減の活用等>

超長期(40年)・固定の財政融資1.0兆円の追加



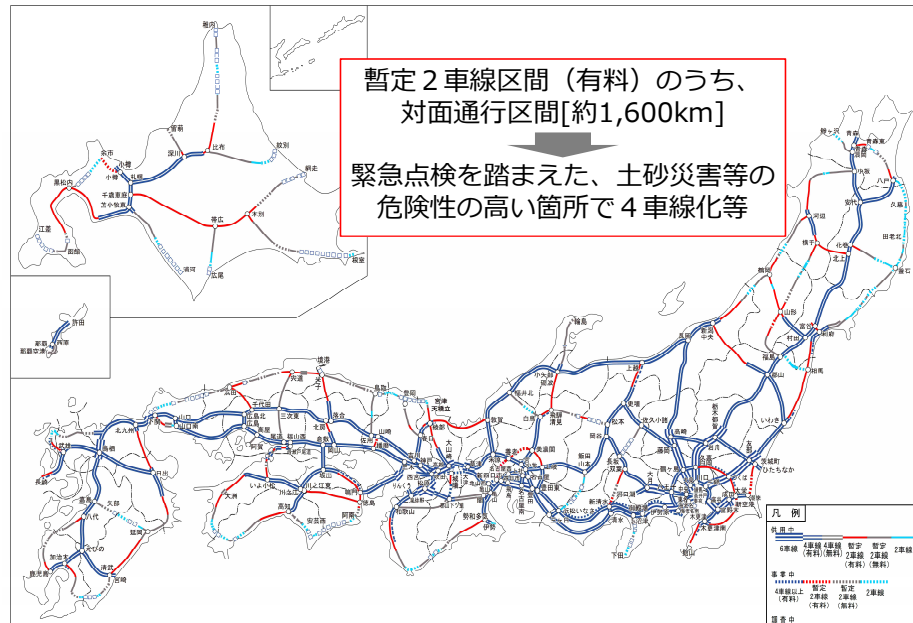
高速道路保有機構
: 7,000億円程度の金利負担の軽減
⇒ 債務引受余力が増大



高速道路会社：投資余力が増大
(財投活用による整備箇所)
○ 暫定2車線区間における4車線化等の実施
○ 新名神(亀山西JCT~大津JCT)の6車線化

<事業(例)>

重要インフラの緊急点検を踏まえ、防災・減災対策のための暫定2車線区間における4車線化等



ダブル連結トラックやトラック隊列走行の実現を見据え、新名神の6車線化による生産性向上



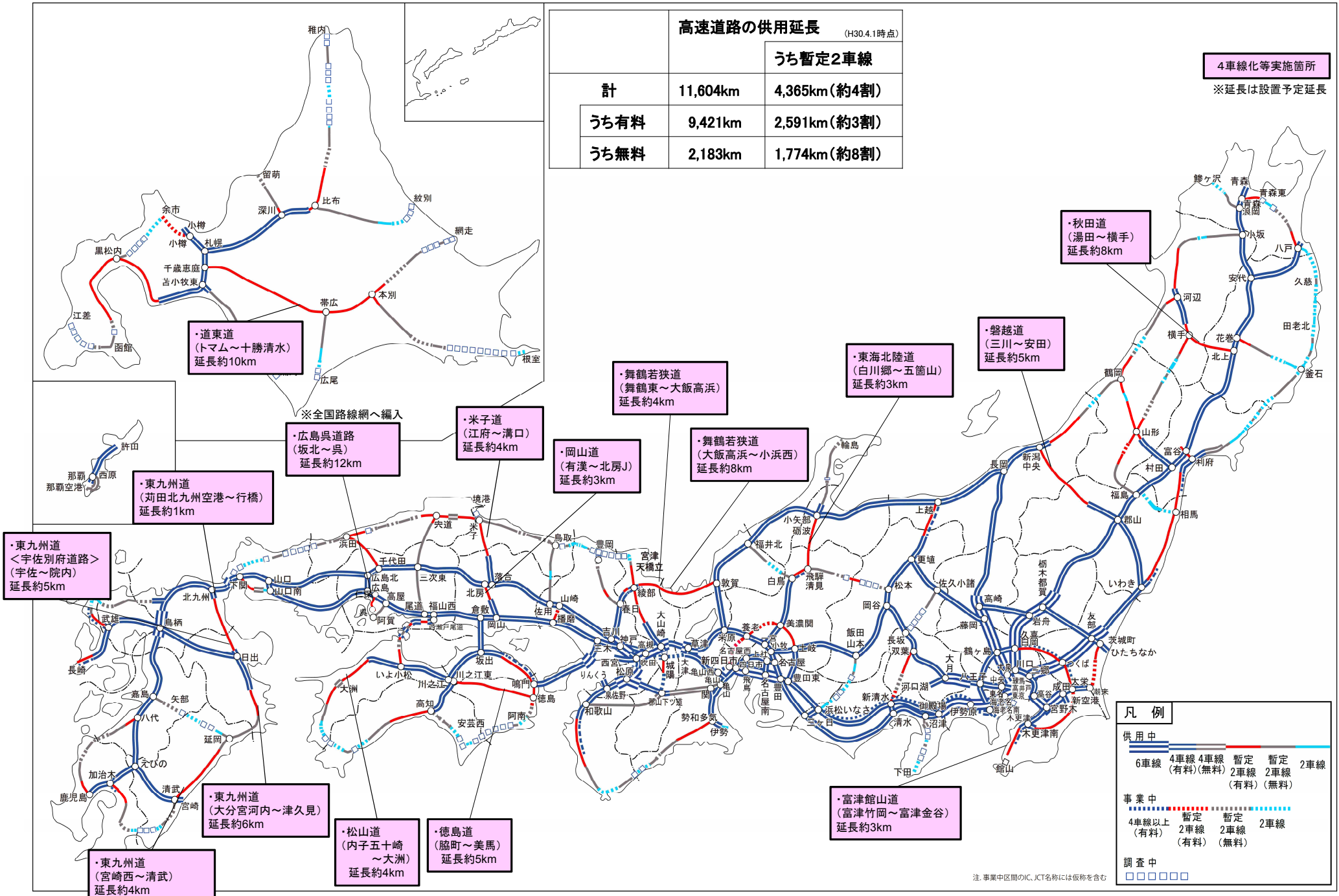
近畿自動車道名古屋神戸線(亀山西JCT~大津JCT)[整備計画変更(6車線化)]



財政投融资を活用した4車線化等実施箇所

計	高速道路の供用延長 (H30.4.1時点)	
	うち暫定2車線	うち暫定4車線
計	11,604km	4,365km (約4割)
うち有料	9,421km	2,591km (約3割)
うち無料	2,183km	1,774km (約8割)

4車線化等実施箇所
※延長は設置予定延長



凡例

供用中

- 6車線 (有料)
- 4車線 (有料)
- 4車線 (無料)
- 暫定 2車線 (有料)
- 暫定 2車線 (無料)

事業中

- 4車線以上 (有料)
- 暫定 4車線以上 (有料)
- 暫定 2車線 (有料)
- 暫定 2車線 (無料)

調査中

- □ □ □

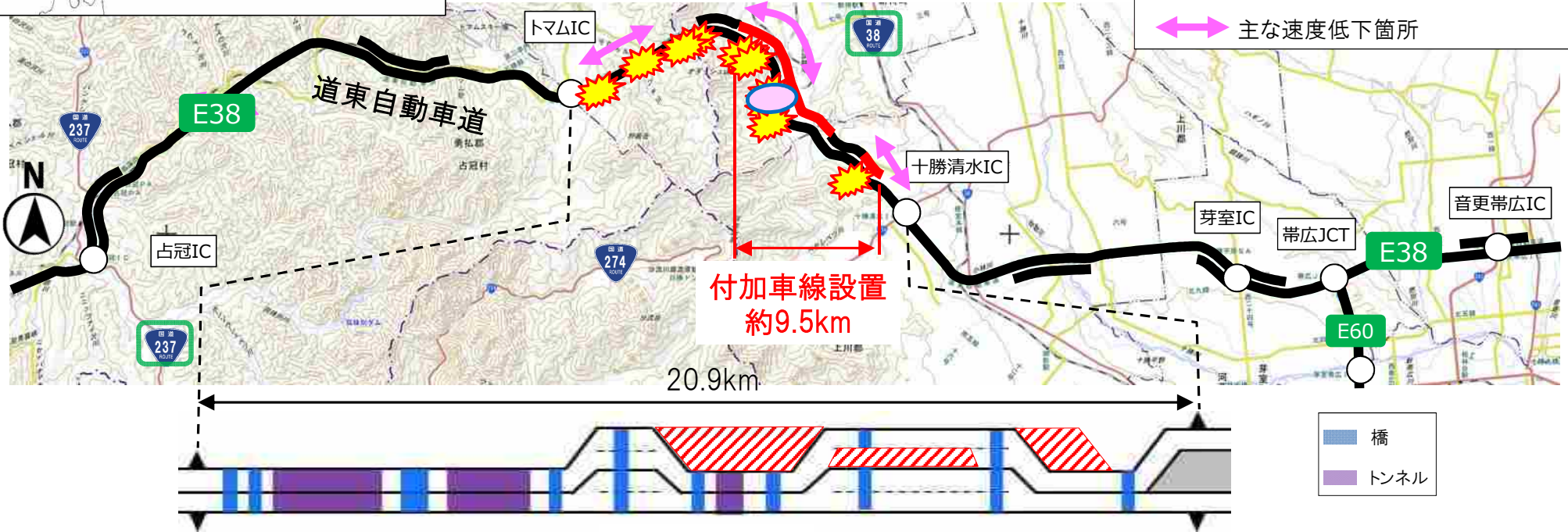
注: 事業中区間のC、JCT名称には仮称を含む

道東自動車道(トマム～十勝清水)



【凡例】

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 事業箇所
- 主な速度低下箇所



《被災箇所・法面危険箇所》



被災年月日:平成28年8月31日

通行止め:58時間

道東自動車道(トマム～十勝清水)

延長 : 20.9 km

開通 : H19.10.21

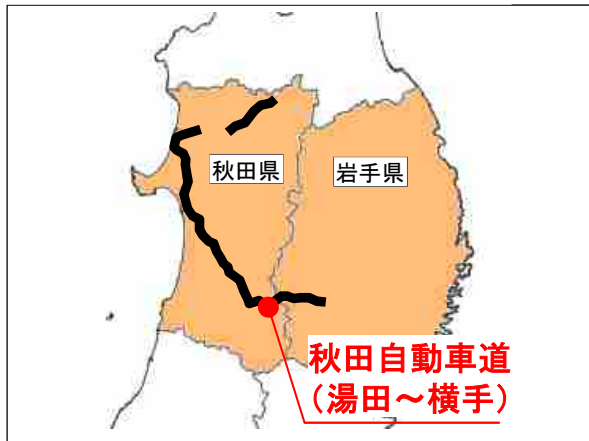
H29交通量 : 10,500台/日

災害通行止め実績 : 10回(計約181時間)
<H15-H30>

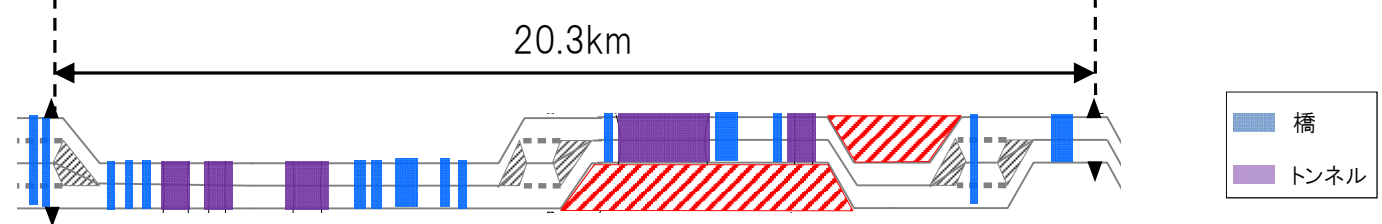
本線事前通行規制 : 90mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

あき た ゆ だ よ こ て 秋田自動車道(湯田～横手)



- 【凡例】
- 被災箇所
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
 - 付加車線(設置済)
 - 事業箇所
 - 主な速度低下箇所



秋田自動車道(湯田～横手)	
延 長	: 20.3 km
開 通	: H7.11.10
H29交通量	: 6,200台/日
災害通行止め実績	: 2回(計 約44時間)
	<H15-H30>
本線事前通行規制	: 220mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所・法面危険箇所》

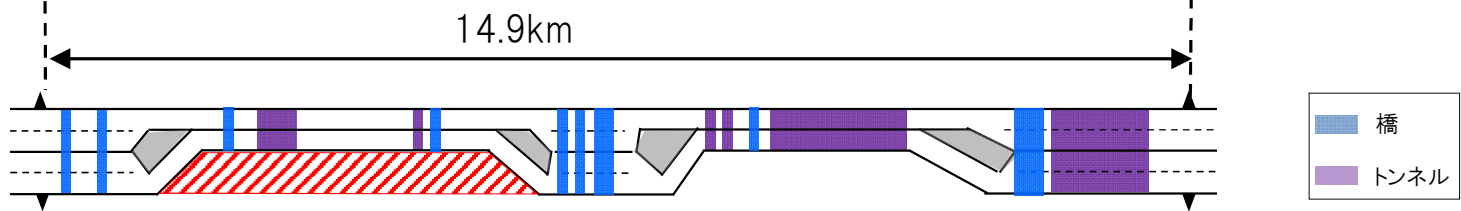


被災年月日:平成23年6月24日
通行止め:6時間

磐越自動車道(三川～安田)



- 【凡例】
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
 - 付加車線(設置済)
 - 事業箇所



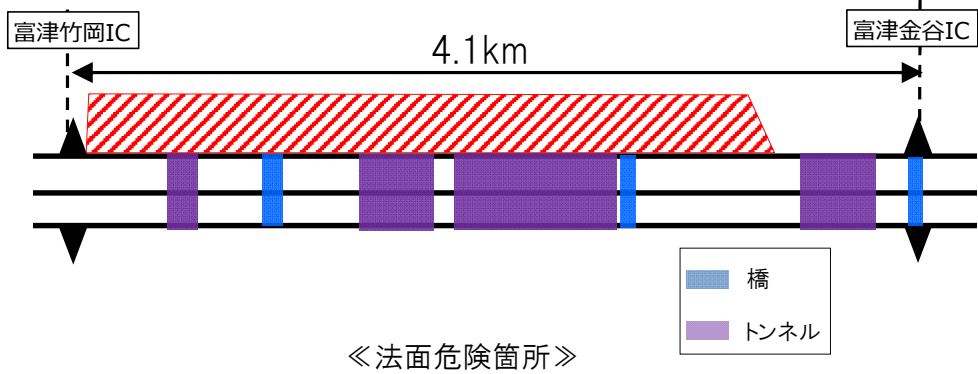
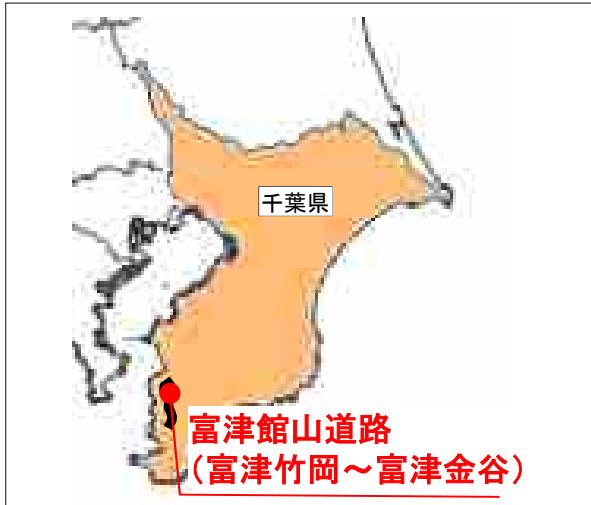
《法面危険箇所》

磐越自動車道(三川～安田)	
延長	: 14.9 km
開通	: H8.11.14
H29交通量	: 7,000台/日
災害通行止め実績	: 0回(計約0時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 170mm(連続雨量)



連続雨量はH30.6月時点のもの

富津館山道路(富津竹岡～富津金谷)



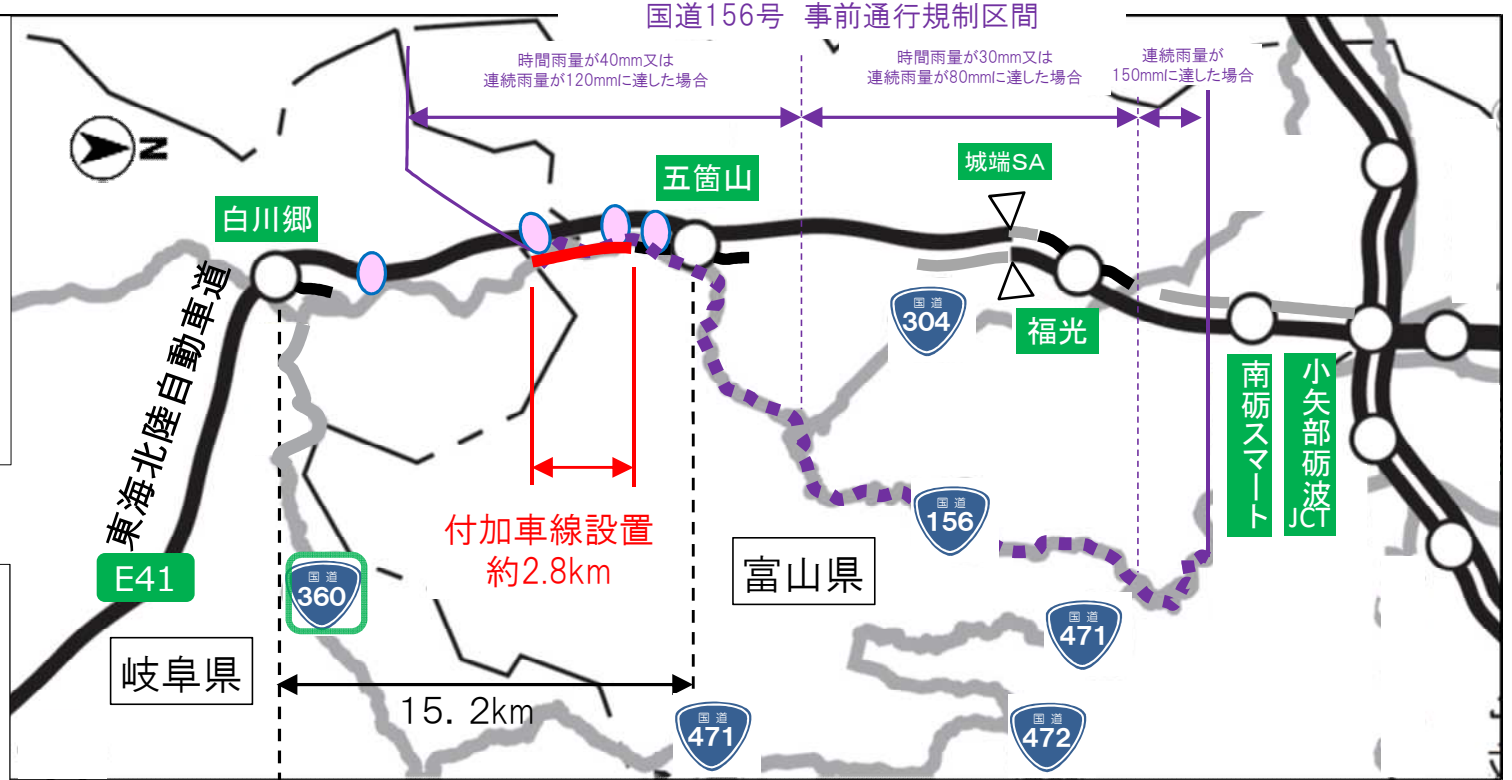
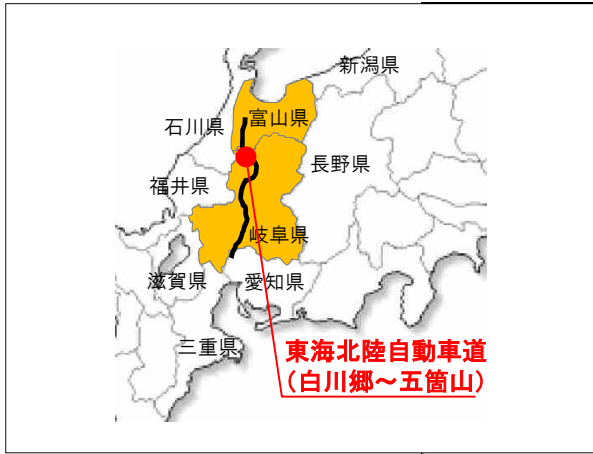
- 【凡例】
- 被災箇所
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
 - 付加車線(設置済)
 - 事業箇所
 - 主な速度低下箇所

富津館山道路 (富津竹岡～富津金谷)	
延長	: 4.1 km
開通	: H11.3.27
H29交通量	: 12,600台/日
災害通行止め実績	: 2回 (計 約28時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 290mm (連続雨量)

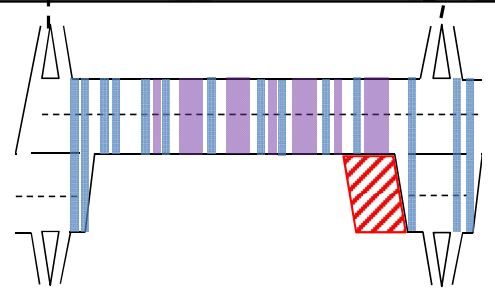
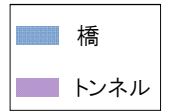
連続雨量はH30.6月時点のもの



とう かい ぼく ぐ しろ かわ ごう ご か やま 東海北陸自動車道(白川郷～五箇山)



- 【凡例】
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
 - 付加車線(設置済)
 - 付加車線(事業中)
 - 事業箇所



《法面危険箇所》

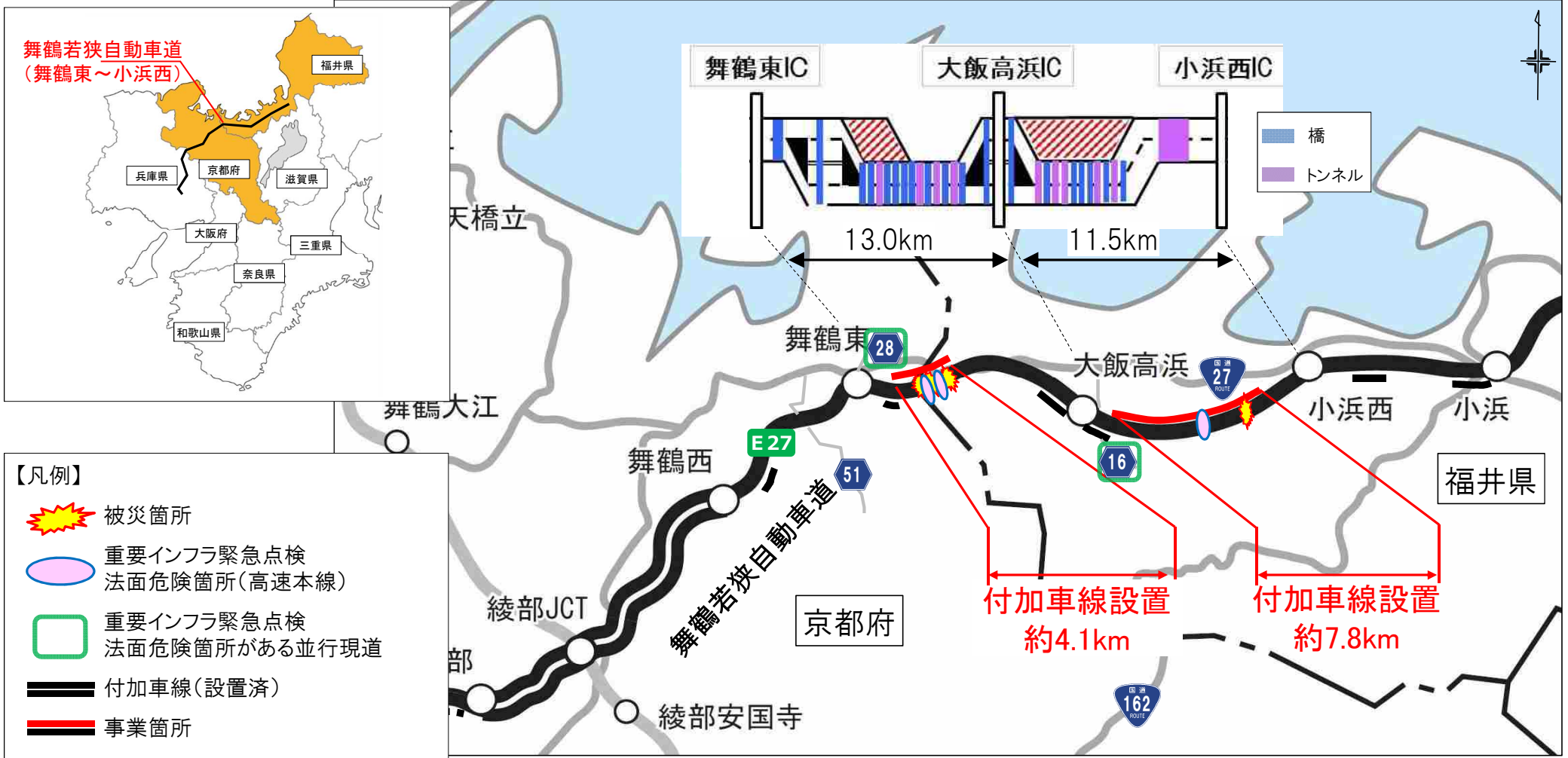


法面のすべり

東海北陸自動車道(白川郷～五箇山)	
延 長	: 15.2 km
開 通	: H14.11.16
H29交通量	: 7,200台/日
災害通行止め実績	: 0回(計約0時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 220mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

舞鶴若狭自動車道(舞鶴東～小浜西)



《被災箇所》

《法面危険箇所》



被災年月日:平成29年10月22日
通行止め:2日間



被災年月日:平成16年10月21日
通行止め:2日間



舞鶴若狭自動車道(舞鶴東～小浜西)	
延長	: 24.5 km
開通	: H15.3.9
H29交通量	: 5,400～5,800台/日
災害通行止め実績	: 2回(計約82時間)
	<H15-H30>
本線事前通行規制	: 210mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

広島呉道路(坂北～呉)



【凡例】

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 事業箇所
- 主な速度低下箇所

広島呉道路(坂北～呉)※	
延 長	: 12.7 km
開 通	: H14.20(天応西～呉)
H29交通量	: 12,600～13,800台/日
災害通行止め実績	: 3回(計約3,994時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 150mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

※財政投融資活用にあわせ全国路線網へ編入
 ※現行料金水準を維持しつつ、一般道等の渋滞緩和を図るため、
 広島呉道路と広島都市高速との連続利用割引を2020年度中に導入(ETC車)
 <例:呉IC～仁保IC～広島都市高速 920円(現行:普通車)→770円(▲150円)>









被災年月日:平成30年7月6日
 通行止め:84日間

岡山自動車道(有漢～北房JCT)

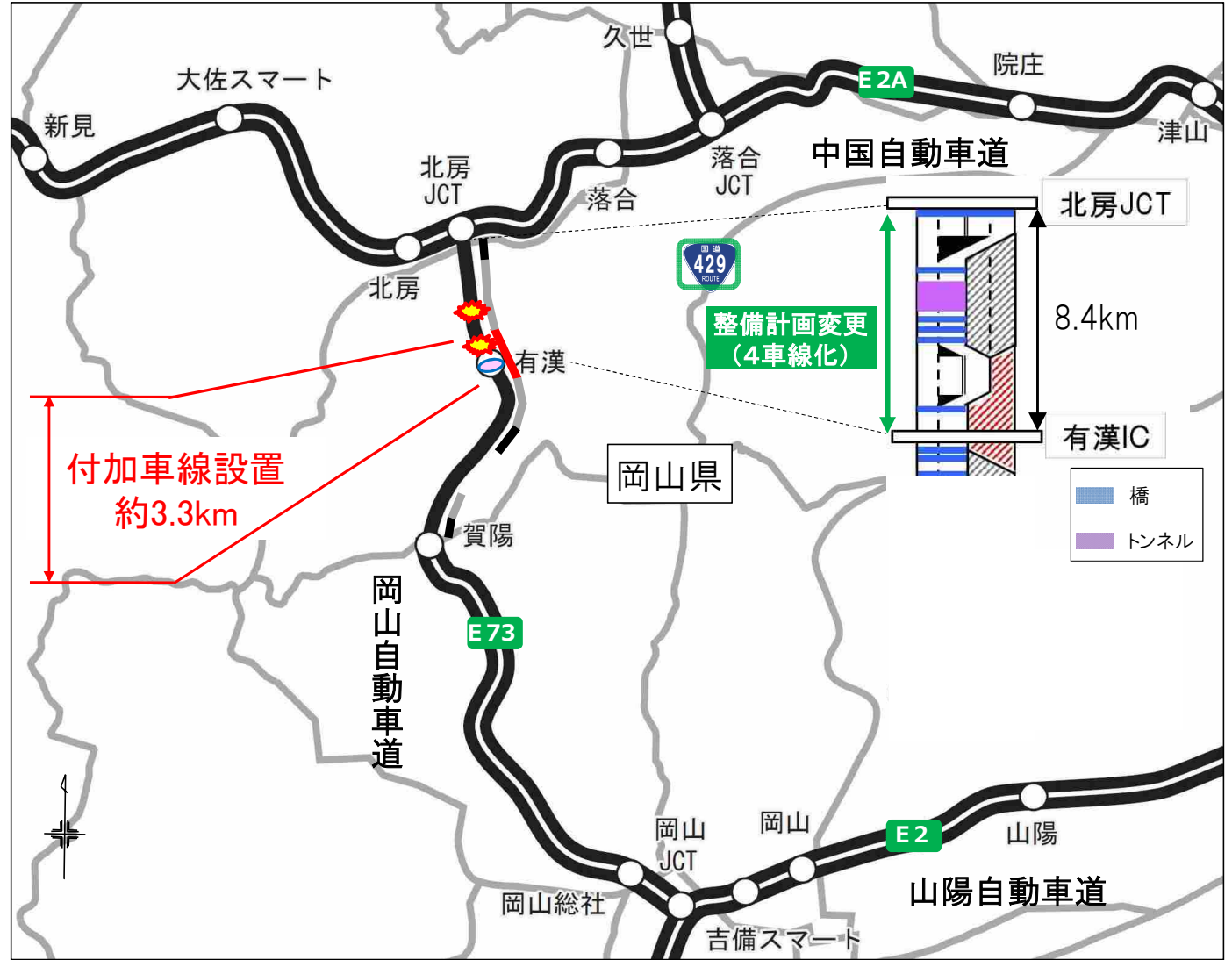


【凡例】

-  被災箇所
-  重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
-  重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
-  付加車線(設置済)
-  付加車線(事業中)
-  事業箇所

岡山自動車道(有漢～北房JCT)	
延長	: 8.4 km
開通	: H9.3.15
H29交通量	: 9,300台/日
災害通行止め実績	: 4回(計約209時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 140mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの



《法面危険箇所》



付加車線設置に伴い、有漢IC～北房JCT間が全区間4車線となるため、整備計画を変更

米子自動車道(江府～溝口)



被災年月日:平成25年7月15日
通行止め:12時間

徳島自動車道(脇町～美馬)



徳島自動車道 (脇町～美馬)	
延長	: 11.5 km
開通	: H9.12.3
H29交通量	: 9,200台/日
災害通行止め実績	: 0回 (計 約0時間)
	<H15-H30>
本線事前通行規制	: 250mm (連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所》



《法面危険箇所》



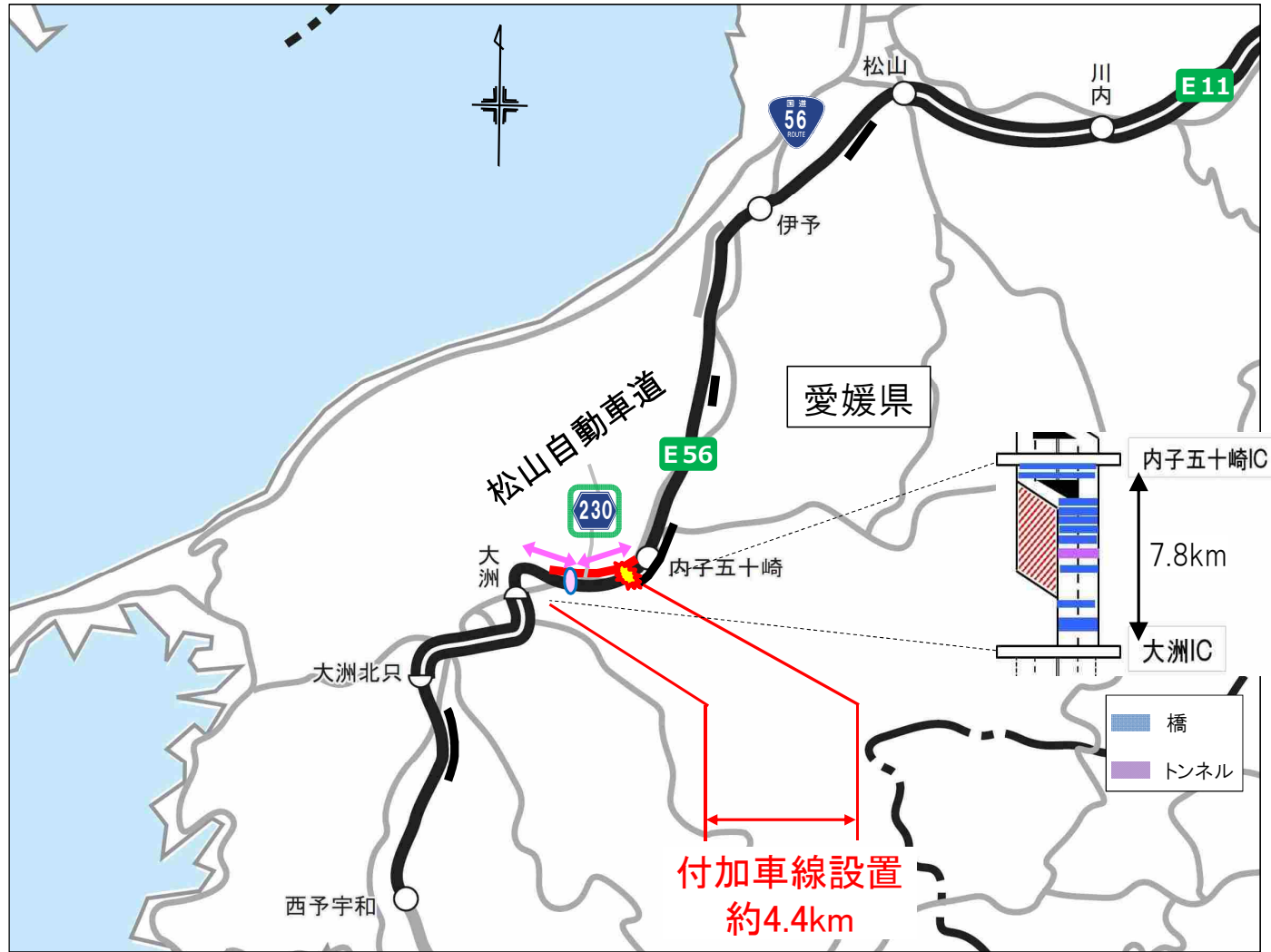
被災年月日:平成30年10月10日

まつやま 松山自動車道(内子五十崎~大洲)



【凡例】

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 付加車線(事業中)
- 事業箇所
- 主な速度低下箇所



《被災箇所》



《法面危険箇所》



松山自動車道 (内子五十崎~大洲)

延長 : 7.8 km

開通 : H12.7.28

H29交通量 : 11,700台/日

災害通行止め実績 : 2回 (計 約7時間)
<H15-H30>

本線事前通行規制 : 190mm (連続雨量)

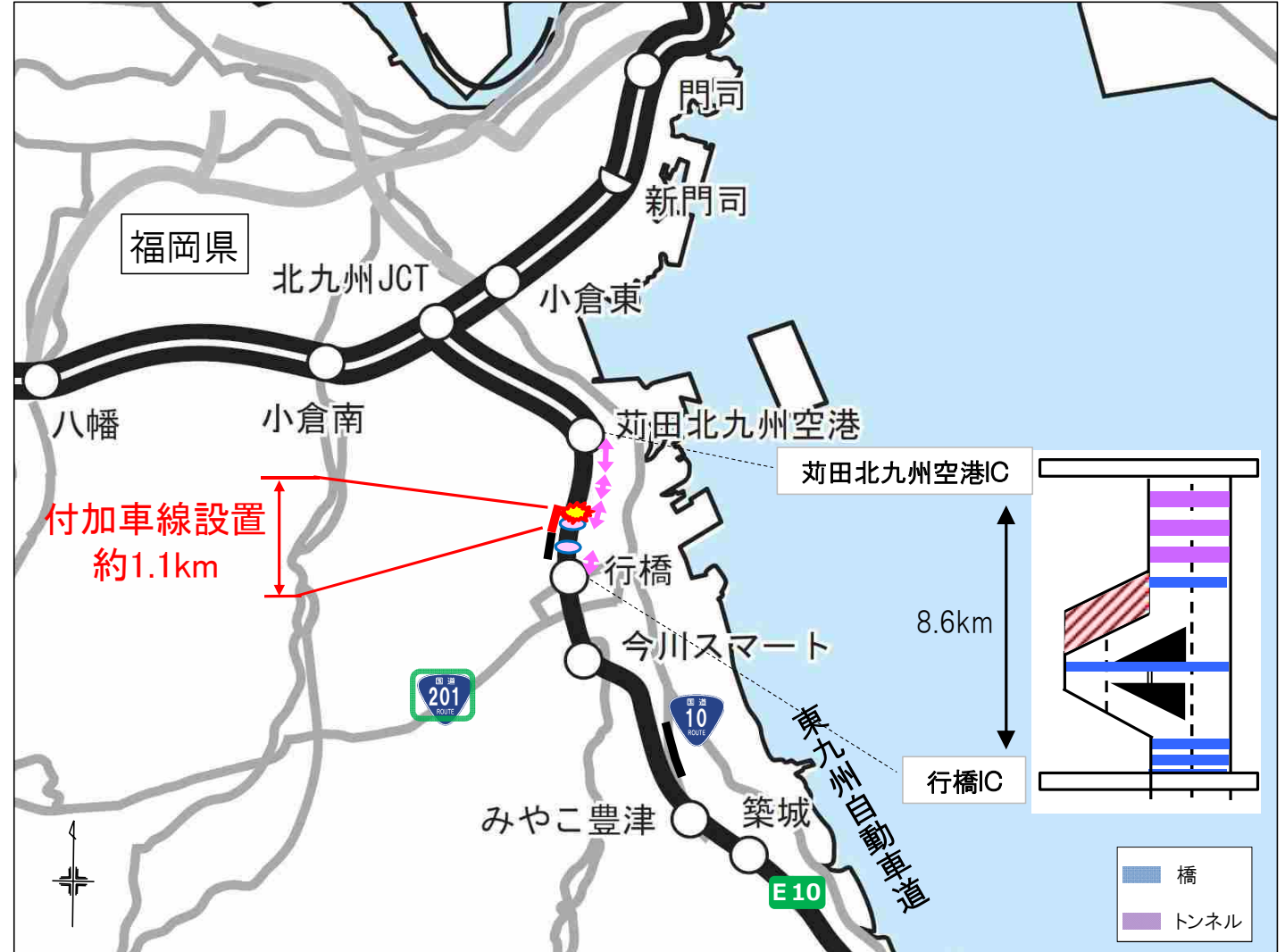
連続雨量はH30.6月時点のもの

被災年月日:平成27年12月11日
通行止め:4時間

東九州自動車道(苅田北九州空港～行橋)



- 【凡例】
- 被災箇所
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
 - 付加車線(設置済)
 - 事業箇所
 - 主な速度低下箇所



東九州自動車道 (苅田北九州空港～行橋)

延長	: 8.6 km
開通	: H26.3.23
H29交通量	: 14,500台/日
災害通行止め実績 <H15-H30>	: 1回(計約17時間)
本線事前通行規制	: 200mm(連続雨量)

《被災箇所》

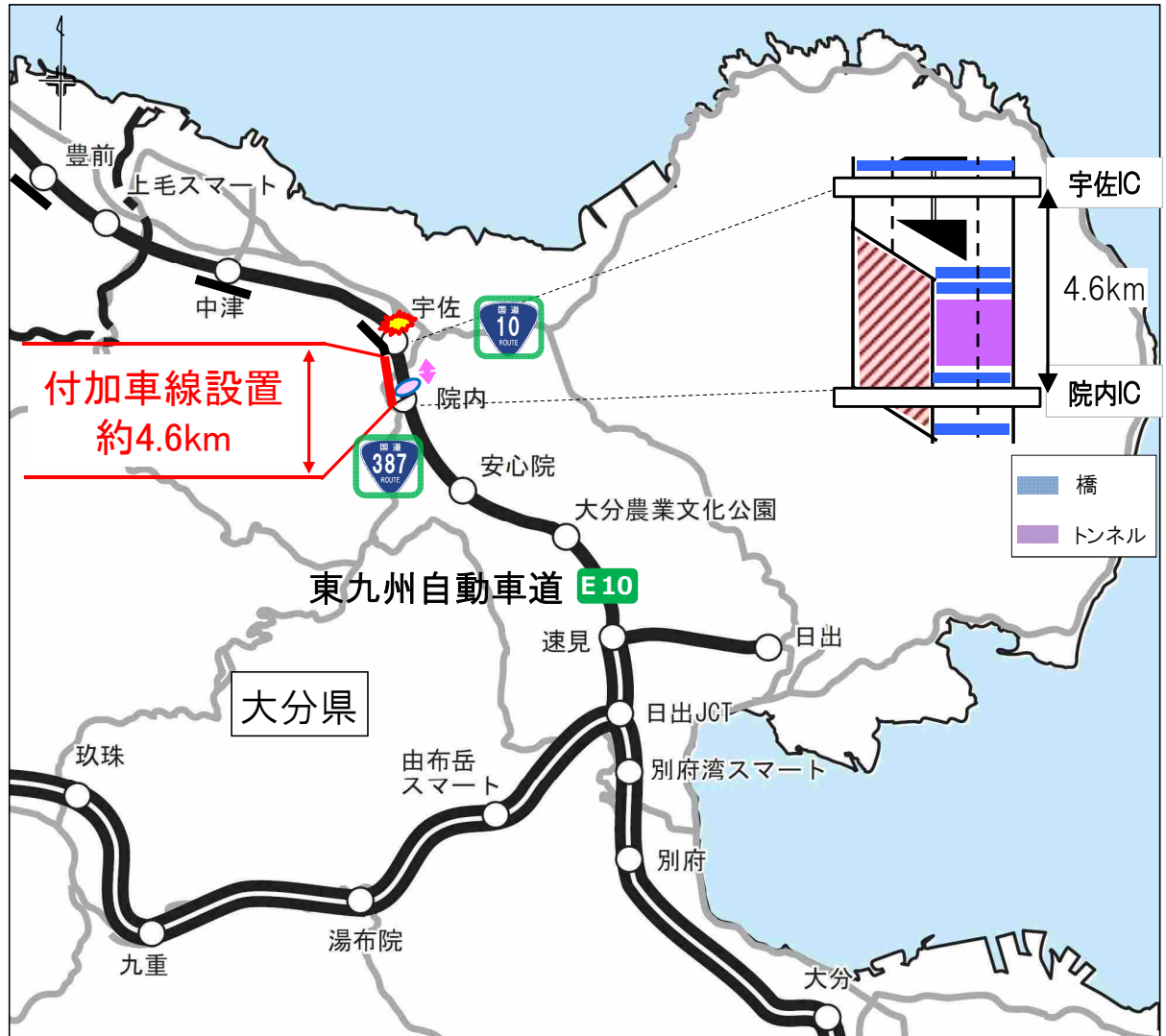


被災年月日:平成29年7月7日
通行止め:17時間

《法面危険箇所》



東九州自動車道(宇佐～院内)



【凡例】

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 事業箇所
- 主な速度低下箇所

東九州自動車道(宇佐～院内)

延長 : 4.6 km
 開通 : H6.12.15
 H29交通量 : 11,600台/日
 災害通行止め実績 : 0回(計約0時間)
 <H15-H30>
 本線事前通行規制 : 350mm(連続雨量)

《被災箇所》



《法面危険箇所》



被災年月日:平成15年8月8日

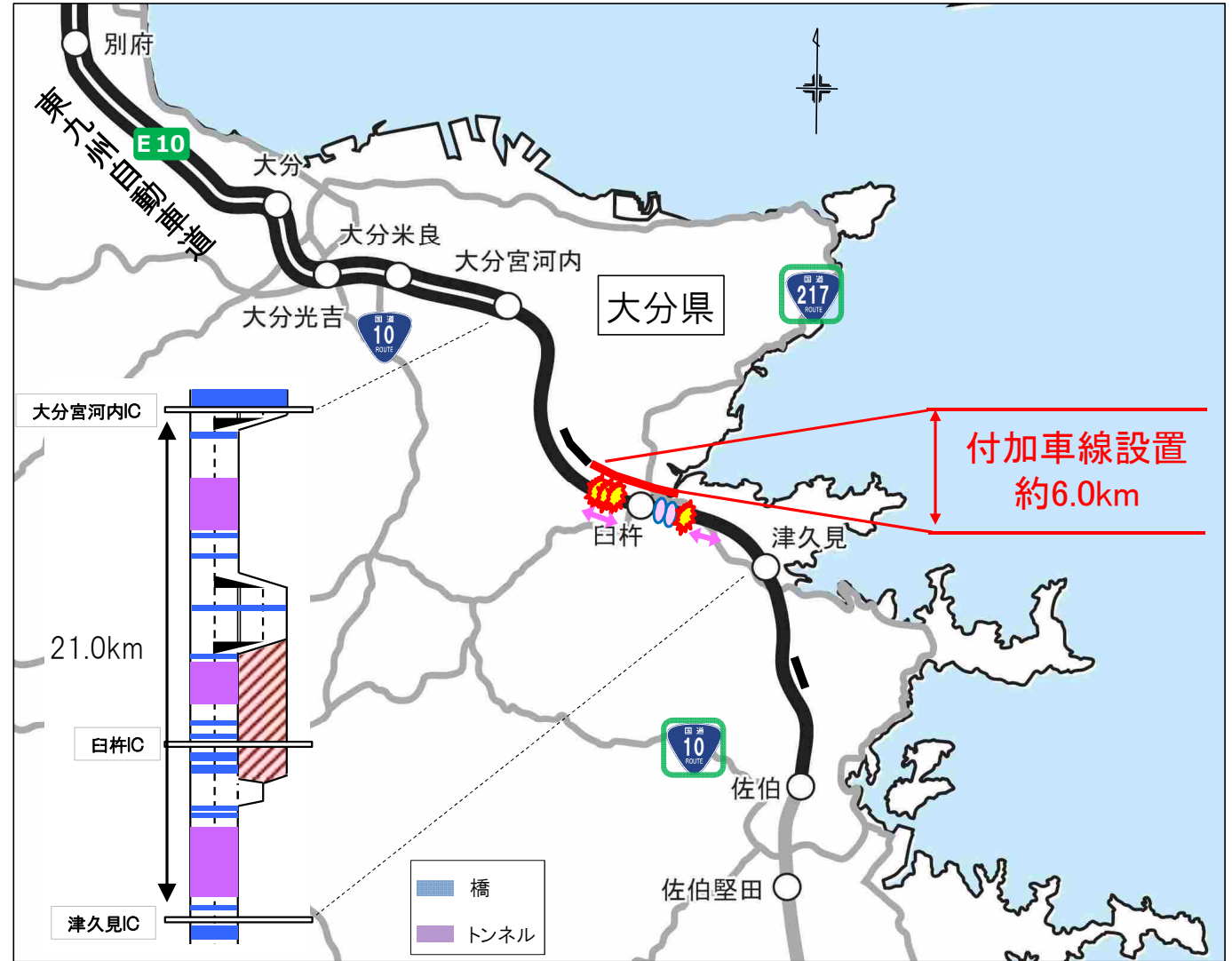
東九州自動車道(大分宮河内～津久見)

東九州自動車道
(大分宮河内～津久見)



【凡例】

- 被災箇所
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
- 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
- 付加車線(設置済)
- 事業箇所
- 主な速度低下箇所



東九州自動車道(大分宮河内～津久見)

延 長 : 21.0 km
 開 通 : H13.12.27
 H29交通量 : 12,000～14,000台/日
 災害通行止め実績 : 7回(計約262時間)
 <H15-H30>
 本線事前通行規制 : 360mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの

《被災箇所》



被災年月日:平成17年9月6日
 通行止め:7日間

《法面危険箇所》



ひがしきゅう しゅう きよ たけ
 東九州自動車道(宮崎西～清武)



- 【凡例】
- 被災箇所
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所(高速本線)
 - 重要インフラ緊急点検
法面危険箇所がある並行現道
 - 付加車線(設置済)
 - 事業箇所

東九州自動車道(宮崎西～清武)	
延 長	: 7.9 km
開 通	: H12.3.25
H29交通量	: 6,900台/日
災害通行止め実績	: 3回(計約131時間) <H15-H30>
本線事前通行規制	: 300mm(連続雨量)

連続雨量はH30.6月時点のもの



被災年月日:平成19年7月13日
 通行止め:3日間



一般国道201号 八木山バイパス(篠栗IC～穂波東IC)[有料道路事業の導入]



神戸淡路鳴門自動車道 淡路ハイウェイオアシススマートIC(仮称)

<インターチェンジの概要>

路線名 : 神戸淡路鳴門自動車道

検討位置 : 兵庫県淡路市岩屋

構造形式 : ハーフIC(ONランプのみ)

運用時間 : 24時間

対象車種 : 全車種(車長12m以下)

<高速道路と直結を予定する民間施設の概要>

施設名 : 淡路ハイウェイオアシス

[アトリウム、物産展、イベント広場、庭園、レストラン等]

会社名 : 株式会社夢舞台

